

九州農政局長賞

で たかしま ながさき
やったろうde高島（長崎県長崎市）

サンゴを核とした環境保全活動と島内外の大学や企業との連携により、離島型交流ビジネスを展開。

1. 地区の概要

高島は、長崎市中心部から南西海上約14kmに位置する有人島で、かつては人口密度日本一の炭鉱の町として栄えたが、炭鉱閉山後は「炭鉱を観光に」をスローガンに島外からの観光客誘客による交流人口の拡大を目指し島の再生を図っている。島内には世界文化遺産に登録された炭鉱跡「北溪井坑跡」^{ほっけいせいこうあと}をはじめとした観光資源や交流施設等も多く存在する。

2. 団体の概要

「やったろうde高島」は会員数11名（うち移住者3名）で構成され、サンゴを活かしたシュノーケリング体験の提供を核として、地域団体、大学、企業、行政と連携して交流人口の拡大に取り組んでいる。

3. 団体の取組み

- 地域特産品の高糖度トマト「高島フルーティートマト」の収穫体験や、養殖ヒラメの新たなメニューを創作し連携する宿泊施設での提供等のエコツアーを企画。トマトの認知度向上と養殖ヒラメの消費拡大を図り、来島者の満足度向上・誘客拡大に貢献している。
- 豊かな島の環境を活かした体験メニュー「シュノーケリングピクニック」は丁寧かつ安全に感動的な体験を提供。これが高島ファンを増やし県外から来島する体験者は年々増加。交流人口の拡大と高島の認知度向上に繋がっている。
- 島民参加型の海浜海中清掃のほか、大学や企業と連携してサンゴの生態調査や育成装置の実証試験等に取り組み、サンゴを核とした環境保全活動を行っている。
- 高島小中学校の授業の一環として「海の世界出前講座」、連携する宮崎大学教授を招いた「サンゴを中心に考える海の世界講習」の講演等の実施により、次代を担う高島っ子の育成、島を愛する島民教育にも貢献している。



高島フルーティートマト収穫体験ツアーのチラシ



宮崎大学教授による環境保全の講習



海中清掃の様様